

2 届出排出量及び移動量の状況

(1) 届出状況

平成18年度(届出期間:平成18年4月1日から6月30日まで)には、平成17年度に県内の事業者が把握した排出量及び移動量について、1,798事業所(平成17年度届出事業所数:1,827事業所)から届出がありました。全国では40,823事業所から届出があり、本県は全国第5位(平成17年度:第5位)で、全国の届出件数に占める割合は4.4%でした。

業種別、市町村別の届出状況は、それぞれ、表2-1、表2-2のとおりです。

表2-1 業種別の届出状況

業種	届出事業所数	届出物質数	業種	届出事業所数	届出物質数
食料品製造業	11	8	電気業	8	7
飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	ガス業	3	2
家具・装備品製造業	3	6	熱供給業	2	1
パルプ・紙・紙加工品製造業	13	6	下水道業	40	31
出版・印刷・同関連産業	15	16	鉄道業	2	3
化学工業	144	160	倉庫業	13	23
石油製品・石炭製品製造業	18	35	石油卸売業	13	5
プラスチック製品製造業	47	56	鉄スクラップ卸売業	1	1
ゴム製品製造業	11	41	自動車卸売業	1	1
なめし革・同製品・毛皮製造業	1	1	燃料小売業	771	6
窯業・土石製品製造業	20	22	洗濯業	14	5
鉄鋼業	15	28	自動車整備業	143	5
非鉄金属製造業	25	30	機械修理業	1	2
金属製品製造業	101	32	商品検査業	1	3
一般機械器具製造業	43	31	計量証明業	4	30
電気機械器具製造業	72	36	一般廃棄物処理業*	53	32
輸送用機械器具製造業	100	41	産業廃棄物処分量	23	38
精密機械器具製造業	9	6	高等教育機関	8	6
武器製造業	1	1	自然科学研究所	21	15
その他の製造業	23	16	合計	1,798	171

*ごみ処分量に限る。

表2-2 市町村別の届出状況

市町村	届出事業所数	届出物質数	市町村	届出事業所数	届出物質数	市町村	届出事業所数	届出物質数
横浜市	539	113	厚木市	83	35	大井町	9	7
川崎市	240	131	大和市	56	50	松田町	2	3
横須賀市	77	88	伊勢原市	38	53	山北町	5	16
平塚市	113	112	海老名市	30	13	開成町	10	19
鎌倉市	31	49	座間市	22	12	箱根町	12	34
藤沢市	85	54	南足柄市	16	45	湯河原町	3	34
小田原市	62	66	綾瀬市	37	53	愛川町	30	30
茅ヶ崎市	41	65	葉山町	7	34	清川村	2	30
逗子市	4	35	寒川町	26	42	城山町*	3	8
相模原市	123	52	大磯町	4	6	津久井町*	7	7
三浦市	11	34	二宮町	1	30	相模湖町*	1	1
秦野市	61	71	中井町	5	35	藤野町*	2	5
合計							1,798	171

*平成17年度に事業所が把握した排出量等についての届出のため、相模原市と平成18年3月に合併した津久井町及び相模湖町、平成19年3月に合併した城山町及び藤野町についても、個別に掲載しています。

(2) 届出排出量・移動量の集計結果

ア 全物質の届出排出量・移動量(《 》内は平成 16 年度結果)

平成 18 年度に県内の事業所から届出のあった平成 17 年度の届出排出量・移動量全体の内訳は、総届出排出量・移動量 25,046 トン《 24,454 トン》に対して、総届出排出量 10,866 トン《 11,983 トン》、総届出移動量 14,180 トン《 12,471 トン》となり(表2-3)、全体に占める割合は、それぞれ、43 %《 49 %》、57 %《 51 %》でした(図2-1)。(市町村別のデータは、別紙2を参照。)

全国に占める割合は、全国の総届出排出量・移動量 489,633 トン《 499,992 トン》に対し 5.1 %《 4.9 %》(全国第 3 位《第 6 位》)、総届出排出量 258,677 トン《 269,567 トン》に対し 4.2 %《 4.4 %》(全国第 6 位《第 5 位》)、総届出移動量 230,956 トン《 230,425 トン》に対し 6.1 %《 5.4 %》(全国第 5 位《第 7 位》)でした。

表2-3 総届出排出量・移動量

		(トン/年)				
		H17	H16	H15	H14	H13
総届出 排出量	大気への排出	10,285	10,855	11,716	10,746	11,806
	公共用水域への排出	367	396	395	408	399
	土壌への排出	0	0	0.001	0.002	0.011
	事業所内での埋立処分	214	732	535	534	534
	小計	10,866	11,983	12,646	11,687	12,739
総届出 移動量	事業所外への廃棄物としての移動	14,072	12,367	11,635	10,491	11,361
	下水道への移動	107	104	114	107	137
	小計	14,180	12,471	11,749	10,598	11,498
合計		25,046	24,454	24,395	22,285	24,237

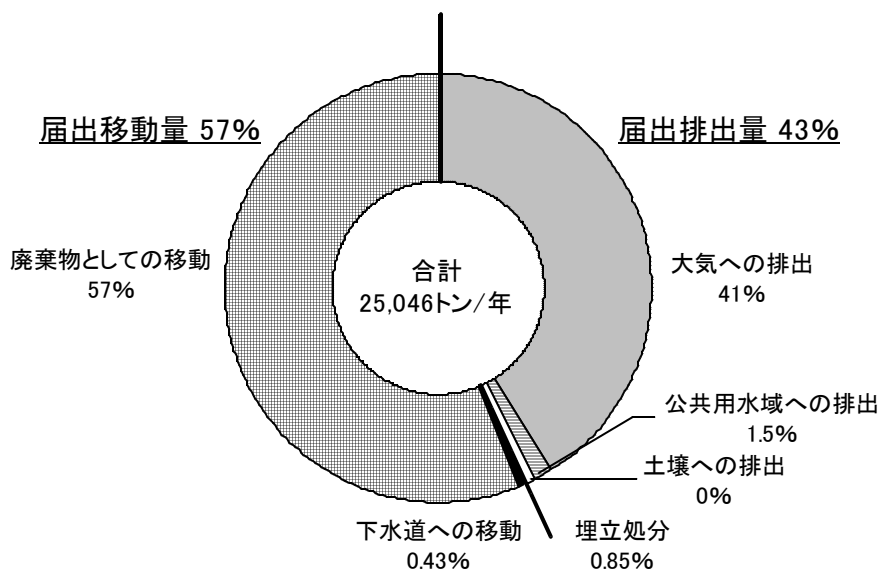


図2-1 総届出排出量・移動量

イ 届出排出量・移動量の状況(《 》内は平成 16 年度結果)

届出排出量・移動量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量・移動量と主な用途は、表 2-4 のとおりです。

表 2-4 届出排出量・移動量上位 5 物質

順位	物質名	排出量・移動量 (トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	トルエン	6,767	7,011 (1)	7,367 (1)	7,203 (1)	7,321 (1)	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
2	キシレン	5,530	4,890 (2)	5,185 (2)	4,095 (2)	4,786 (2)	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
3	エチルベンゼン	1,462	1,030 (5)	1,316 (4)	816 (4)	832 (4)	合成原料、溶剤等
4	フェノール	1,238	1,144 (4)	366 (12)	37 (51)	33 (57)	合成樹脂原料、合成原料等
5	塩化メチレン	1,110	1,168 (3)	1,086 (3)	1,328 (3)	1,468 (3)	洗浄剤、溶剤等

届出排出量・移動量の多い上位 10 物質は、図 2-2 のとおりです。上位 10 物質の排出量・移動量の合計は 19,195 トン《 18,116 トン》で、総届出排出量・移動量 25,046 トン《 24,454 トン》に占める割合は 77 %《 74 %》でした。(物質別のデータは、別紙 3 を参照。)

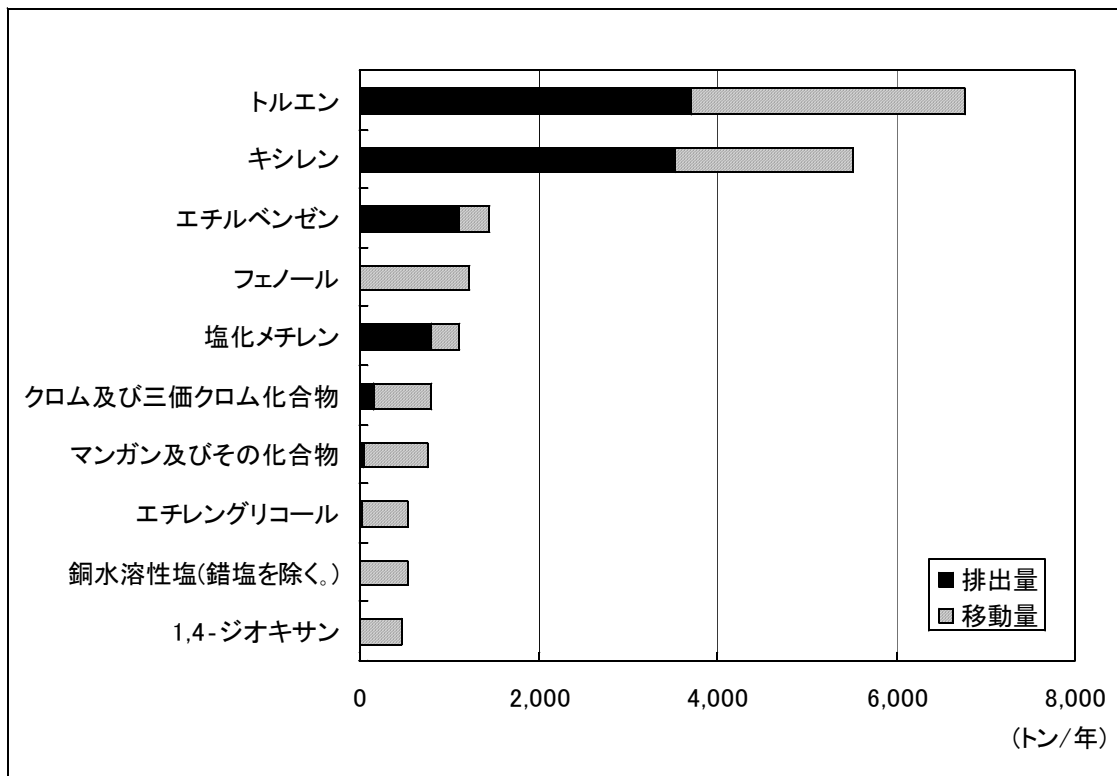


図 2-2 届出排出量・移動量上位 10 物質

ウ 届出排出量の状況(《 》内は平成 16 年度結果)

届出排出量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量と主な用途は、表2-5のとおりです。

表2-5 届出排出量上位 5 物質

順位	物質名	排出量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	トルエン	3,720	4,348 (1)	4,493 (1)	4,069 (1)	4,287 (1)	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
2	キシレン	3,520	3,407 (2)	3,627 (2)	3,169 (2)	2,629 (2)	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
3	エチルベンゼン	1,119	792 (4)	817 (4)	604 (4)	547 (4)	合成原料、溶剤等
4	塩化メチレン	813	920 (3)	1,051 (3)	1,082 (3)	1,186 (3)	洗浄剤、溶剤等
5	塩化メチル	194	300 (6)	300 (5)	267 (6)	347 (5)	合成原料、溶剤等

届出排出量の多い上位 10 物質は、図2-3のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 9,967 トン《 10,856 トン》で、総届出排出量 10,866 トン《 11,983 トン》に占める割合は 92 %《 91 %》でした。

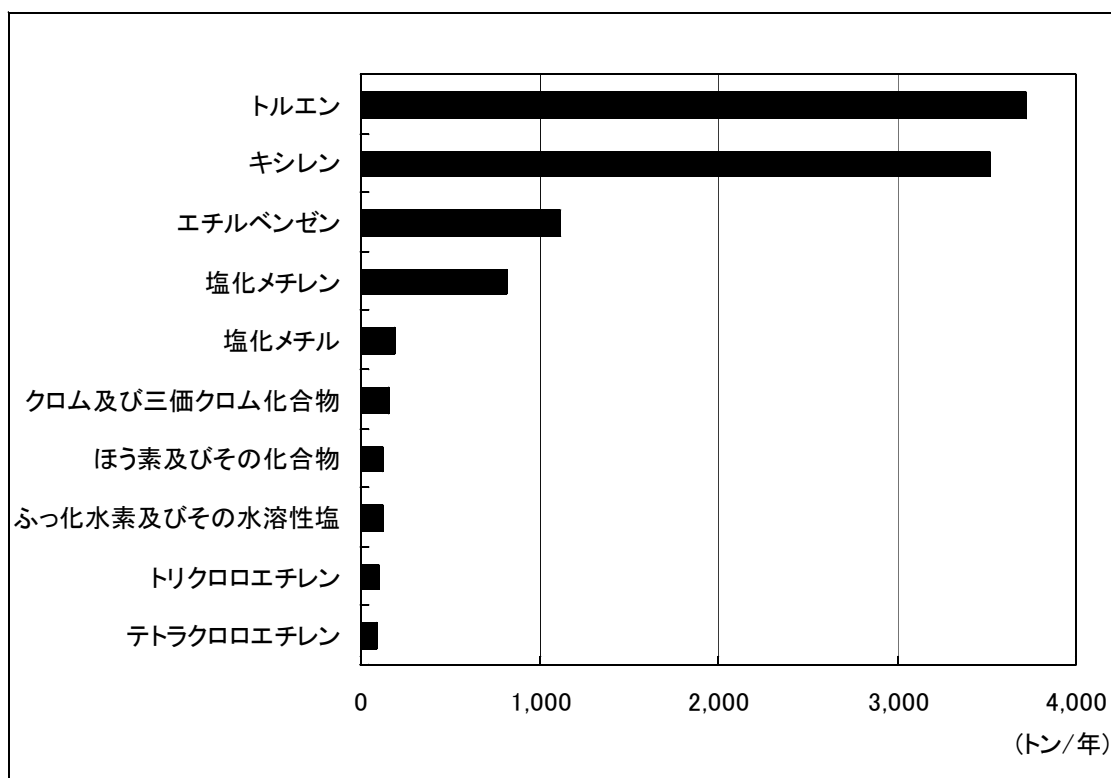


図2-3 届出排出量上位 10 物質

エ 届出移動量の状況(《 》内は平成16年度結果)

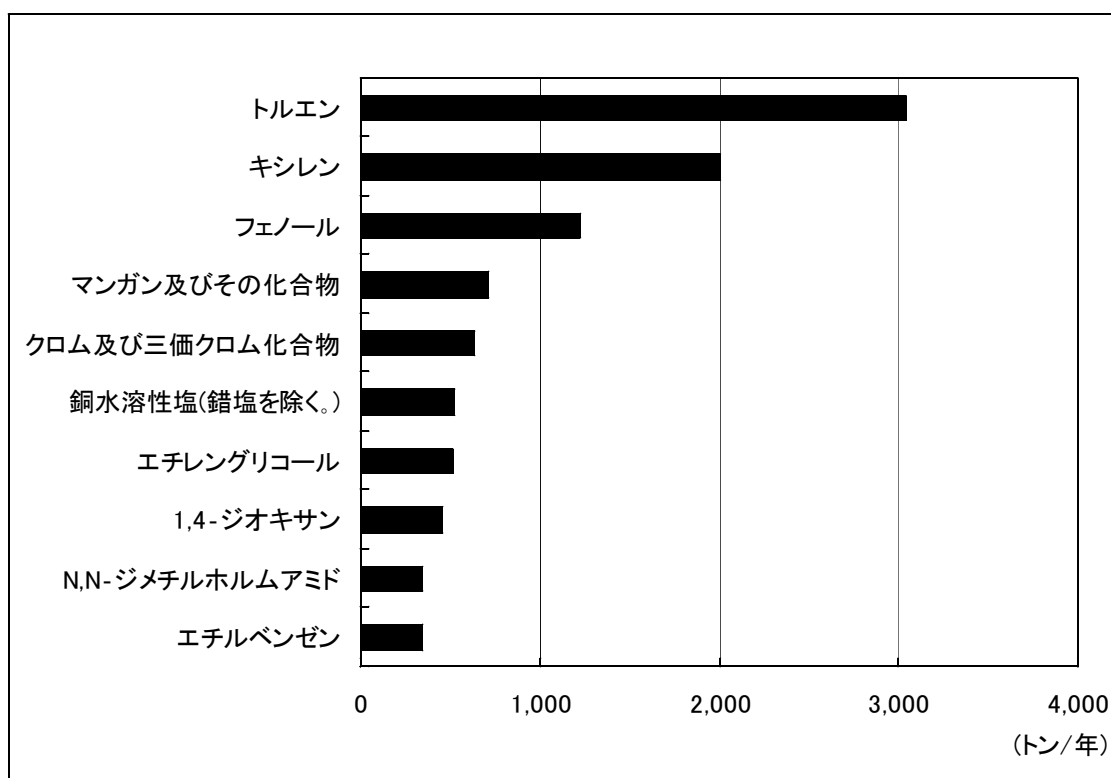
届出移動量の多い上位5物質の過去5年間の移動量と主な用途は、表2-6のとおりです。

表2-6 届出移動量上位5物質

順位	物質名	移動量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	トルエン	3,047	2,663 (1)	2,874 (1)	3,133 (1)	3,034 (1)	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
2	キシレン	2,010	1,516 (2)	1,558 (2)	926 (2)	1,156 (2)	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
3	フェノール	1,228	1,135 (3)	365 (8)	32 (40)	26 (43)	合成樹脂原料、合成原料等
4	マンガン及びその化合物	711	245 (12)	135 (23)	144 (20)	157 (20)	特殊鋼、電池、酸化剤等
5	クロム及び三価クロム化合物	640	329 (9)	170 (18)	147 (18)	162 (19)	ステンレス鋼、めっき等

届出移動量の多い上位10物質は、図2-4のとおりです。上位10物質の移動量の合計は9,833トン《8,211トン》で、総届出移動量14,180トン《12,471トン》に占める割合は69%《66%》でした。

届出移動量上位10物質



オ 届出排出量の排出先ごとの状況

(ア) 大気への排出状況(《 》内は平成 16 年度結果)

大気への排出量は 10,285 トン《 10,855 トン》で、総届出排出量 10,866 トン《 11,983 トン》に占める割合は 95 %《 91 %》でした。

排出量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量と主な用途は、表 2-7 のとおりです。

表 2-7 大気への排出量上位 5 物質

順位	物質名	排出量 (トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	トルエン	3,720	4,348 (1)	4,493 (1)	4,069 (1)	4,286 (1)	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
2	キシレン	3,517	3,404 (2)	3,627 (2)	3,167 (2)	3,629 (2)	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
3	エチルベンゼン	1,119	792 (4)	817 (4)	604 (4)	547 (4)	合成原料、溶剤等
4	塩化メチレン	813	920 (3)	1,050 (3)	1,082 (3)	1,185 (3)	洗浄剤、溶剤等
5	塩化メチル	192	297 (5)	298 (5)	265 (5)	345 (5)	合成原料、溶剤等

排出量の多い上位 10 物質は、図 2-5 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 9,765 トン《 10,210 トン》で、大気への排出量全体に占める割合は 95 %《 94 %》でした。

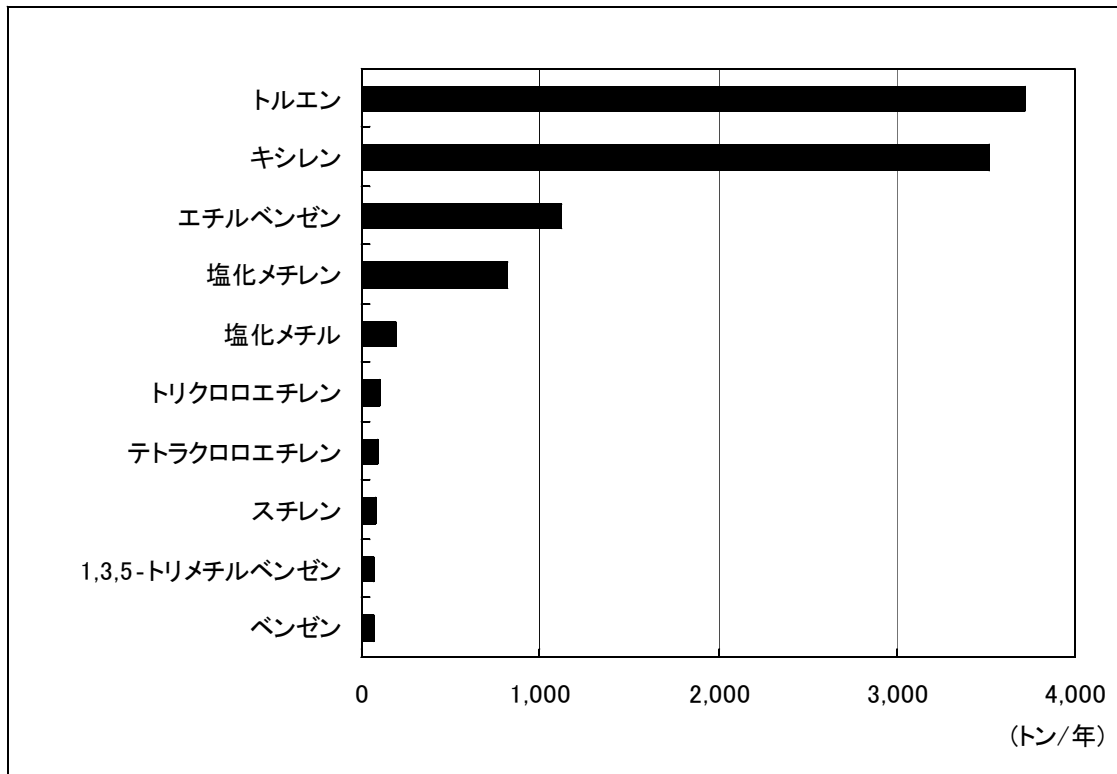


図 2-5 大気への排出量上位 10 物質

(イ) 公共用水域への排出状況(《 》内は平成 16 年度結果)

公共用水域への排出量は 367 トン《 396 トン》で、総届出排出量 10,866 トン《 11,983 トン》に占める割合は 3.4 %《 3.3 %》でした。

排出量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量と主な用途は、表 2-8 のとおりです。

表 2-8 公共用水域への排出量上位 5 物質

順位	物質名	排出量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	ふっ化水素及びその水溶性塩	121	139 (1)	148 (1)	170 (1)	126 (1)	合成原料、エッチング剤等
2	ほう素及びその化合物	114	127 (2)	113 (2)	111 (2)	123 (2)	ドーピング剤、脱酸剤等
3	亜鉛の水溶性化合物	37	48 (3)	48 (3)	46 (3)	48 (3)	金属表面処理剤、乾電池等
4	マンガン及びその化合物	26	25 (4)	25 (4)	27 (4)	35 (4)	特殊鋼、電池、酸化剤等
5	モリブデン及びその化合物	10	13 (5)	13 (5)	13 (5)	7 (5)	特殊鋼、顔料、触媒等

排出量の多い上位 10 物質は、図 2-6 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 337 トン《 373 トン》で、公共用水域への排出量全体に占める割合は 92 %《 94 %》でした。

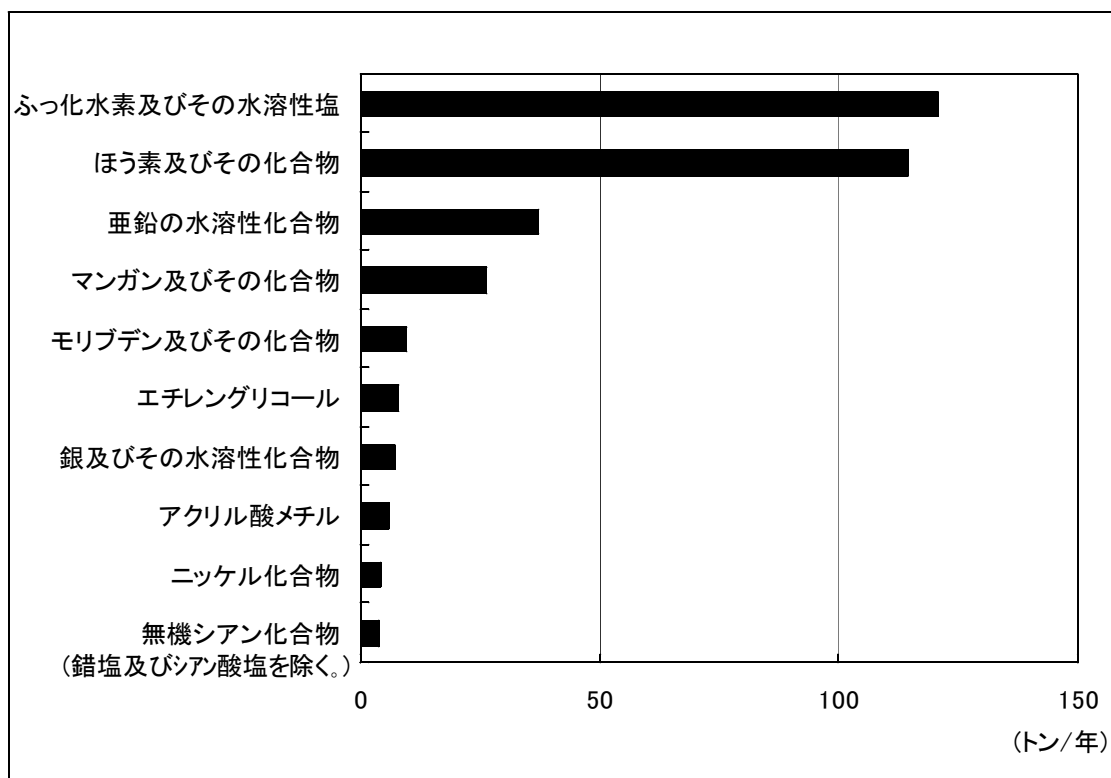


図 2-6 公共用水域への排出量上位 10 物質

水域別の排出量は、表2-9とおりです。

表2-9 水域別排出量

水域名称		排出量	水域名称	排出量	
河川	相模川	31	河川	早川	0.87
	鶴見川	25		千歳川	0.76
	入江川	14		金目川	0.62
	酒匂川	10		恩田川	0.19
	境川	8.7		森戸川	0.027
	多摩川	5.8		狩川	0.027
	矢上川	4.6		中村川	0.006
	柏尾川	4.5		葛川*	0.000
	引地川	4.3		河川計	116
	目久尻川	3.0		海域	東京湾
	麻生川	1.4	相模湾		49
	玉川	1.3	海域計	251	
				合計	367

* 0.0082mg

(ウ) 土壌への排出状況

平成17年度、平成16年度ともに、土壌への排出の届出はありませんでした。

(エ) 事業所における埋立処分の状況(《 》内は平成16年度結果)

事業所内での埋立処分量は214トン《732トン》で、総届出排出量10,866トン《11,983トン》に占める割合は2.0%《6.1%》でした。

届出があった物質数は12物質《5物質》で、上位5物質の過去5年間の排出量と主な用途は、表2-10のとおりです。埋立処分量の多い上位5物質で、埋立処分量全体のほぼ100%を占めていました。

表2-10 事業所内での埋立処分量上位5物質

順位	物質名	埋立処分量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	クロム及び三価クロム化合物	160	280 (2)	220 (2)	210 (2)	210 (2)	ステンレス鋼、めっき等
2	ニッケル化合物	32	69 (3)	53 (3)	51 (3)	82 (3)	ドーピング剤、脱酸剤等
3	マンガン及びその化合物	21	380 (1)	260 (1)	270 (1)	240 (1)	特殊鋼、電池、酸化剤等
4	亜鉛の水溶性化合物	0.4	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	金属表面処理剤、乾電池等
5	赤リ(オキシエチレン)ノニルフェニルエーテル	0.03	— (-)	— (-)	— (-)	— (-)	界面活性剤(洗浄剤、乳化剤等)

カ 届出移動量の移動先ごとの状況

(ア) 廃棄物としての移動量(《 》内は平成 16 年度結果)

廃棄物としての移動量は 14,072 トン《 12,367 トン》で、総届出移動量 14,180 トン《 12,471 トン》に占める割合は 99 %《 99 %》でした。

移動量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の移動量と主な用途は、表 2-11 のとおりです。

表 2-11 廃棄物としての移動量上位 5 物質

順位	物質名	移動量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	トルエン	3,044	2,663 (1)	2,837 (1)	3,131 (1)	3,033 (1)	合成原料、ガソリン成分、溶剤等
2	キシレン	2,009	1,514 (2)	1,555 (2)	916 (2)	1,140 (2)	合成原料、ガソリン・灯油成分、溶剤等
3	フェノール	1,228	1,135 (3)	365 (7)	32 (40)	25 (43)	合成樹脂原料、合成原料等
4	マンガン及びその化合物	711	245 (12)	135 (22)	144 (20)	157 (20)	特殊鋼、電池、酸化剤等
5	クロム及び三価クロム化合物	640	326 (9)	167 (18)	145 (18)	161 (19)	ステンレス鋼、めっき等

移動量の多い上位 10 物質は、図 2-7 のとおりです。上位 10 物質の移動量の合計は 9,799 トン《 8,173 トン》で、廃棄物としての移動量全体に占める割合は 70 %《 66 %》でした。

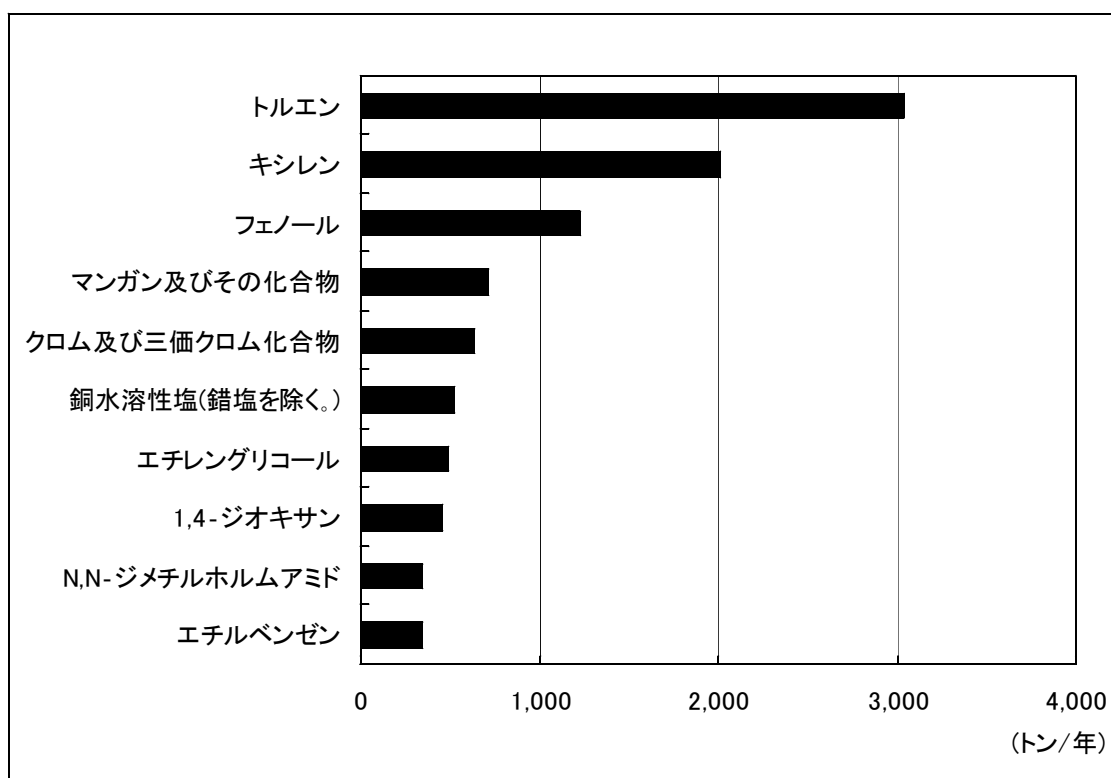


図 2-7 廃棄物としての移動量上位 10 物質

(イ) 下水道への移動量(《 》内は平成 16 年度結果)

下水道への移動量は 107トン《 104トン》で、総届出移動量 14,180トン《 12,471トン》に占める割合は 0.75 %《 0.83 %》でした。

移動量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の移動量と主な用途は、表 2-12 のとおりです。

表 2-12 下水道への移動量上位 5 物質

順位	物質名	移動量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な用途
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	バリウム及びその水溶性化合物	34	24 (2)	29 (2)	26 (1)	10 (5)	紙加工剤、ガラス材料、顔料等
2	エチレングリコール	25	29 (1)	35 (1)	17 (3)	36 (1)	合成樹脂原料、不凍液等
3	エチレンジアミン四酢酸	8	9 (3)	9 (3)	9 (5)	14 (4)	加工材、安定剤、重合開始剤等
4	ふっ化水素及びその水溶性塩	8	8 (4)	8 (4)	6 (7)	7 (7)	合成原料、エッチング剤等
5	2-アミノエタノール	5	8 (5)	8 (5)	8 (6)	10 (6)	溶媒、医薬品抽出剤等

移動量の多い上位 10 物質は、図 2-8 のとおりです。上位 10 物質の移動量の合計は 94トン《 92トン》で、下水道への移動量全体に占める割合は 88 %《 88 %》でした。

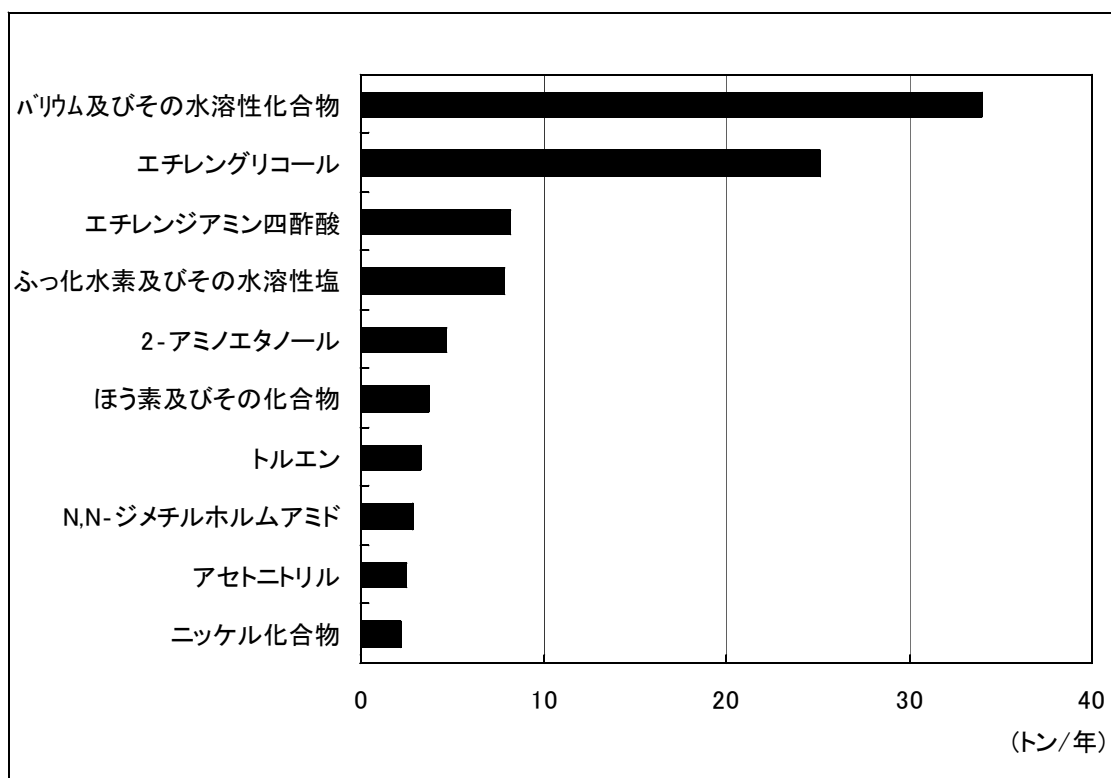


図 2-8 下水道への移動量上位 10 物質

キ 業種別の排出・移動状況

(ア) 届出排出量・移動量(《 》内は平成 16 年度結果)

製造業・非製造業を合わせた全 39 業種のうち、製造業(20 業種)における届出排出量・移動量の合計は 24,114 トン《 23,414 トン》で、総届出排出量・移動量 25,046 トン《 24,454 トン》の 96 %《 96 %》を占めていました。

排出量・移動量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量・移動量と主な用途は、表 2-13 のとおりです。

表 2-13 届出排出量・届出移動量上位 5 業種

順位	物質名	排出量・移動量 (トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な届出物質
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	化学工業	6,767	9,213 (1)	8,391 (1)	8,564 (1)	9,146 (1)	トルエン、キシレン、フェノール
2	輸送用機械器具製造業	5,530	5,606 (2)	5,903 (2)	5,295 (2)	5,982 (2)	キシレン、トルエン、エチルベンゼン
3	鉄鋼業	1,462	1,496 (4)	1,156 (5)	1,047 (5)	1,107 (5)	クロム及び三価クロム化合物、マンガン及びその化合物、キシレン
4	金属製品製造業	1,238	1,329 (5)	1,418 (4)	1,276 (4)	1,580 (3)	キシレン、亜鉛の水溶性化合物、トルエン
5	ゴム製品製造業	1,110	1,547 (3)	2,084 (3)	1,773 (3)	1,404 (4)	トルエン、塩化メチレン、キシレン

排出量・移動量の多い上位 10 業種は、図 2-9 のとおりです。上位 10 物質の排出量・移動量の合計は 23,327 トン《 21,204 トン》で、総届出排出量・移動量に占める割合は 93 %《 91 %》でした。(業種別のデータは、別紙 4 を参照。)

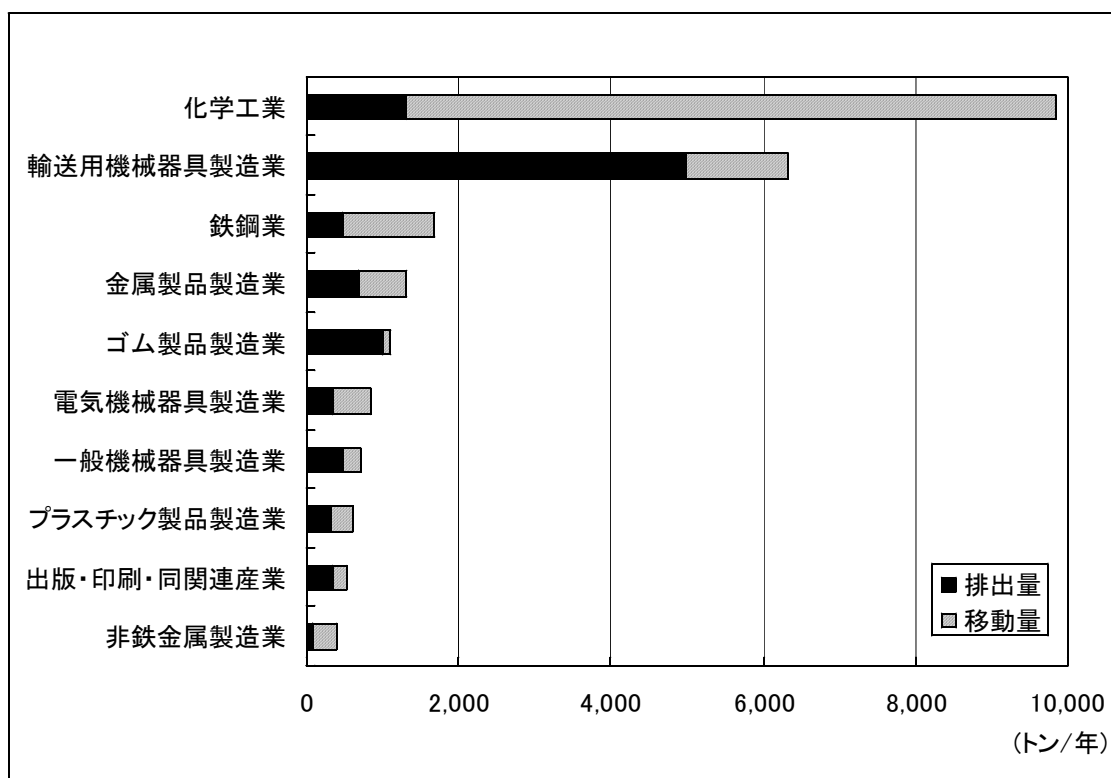


図 2-9 届出排出量・届出移動量上位 10 業種

(イ) 届出排出量(《 》内は平成 16 年度結果)

製造業・非製造業を合わせた全 39 業種のうち、製造業(20 業種)における届出排出量の合計は 10,401 トン《 11,452 トン》で、総届出排出量 10,866 トン《 11,983 トン》の 96 %《 96 %》を占めていました。

排出量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の排出量と主な用途は、表 2-14 のとおりです。

表 2-14 届出排出量上位 5 業種

順位	物質名	排出量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な届出物質
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	輸送用機械器具製造業	4,995	4,622 (1)	4,885 (1)	4,320 (1)	4,667 (1)	キシレン、トルエン、エチルベンゼン
2	化学工業	1,312	1,593 (2)	1,798 (2)	2,031 (2)	2,210 (2)	トルエン、塩化メチレン、塩化メチル
3	ゴム製品製造業	1,002	1,437 (3)	1,758 (3)	1,437 (3)	1,090 (4)	トルエン、塩化メチレン、キシレン
4	金属製品製造業	691	750 (5)	855 (5)	905 (4)	1,136 (3)	キシレン、トルエン、塩化メチレン
5	一般機械器具製造業	473	431 (6)	426 (7)	321 (7)	494 (7)	キシレン、トルエン、エチルベンゼン

排出量の多い上位 10 業種は、図 2-10 のとおりです。上位 10 物質の排出量の合計は 10,154 トン《 11,258 トン》で、総届出排出量に占める割合は 93 %《 94 %》でした。

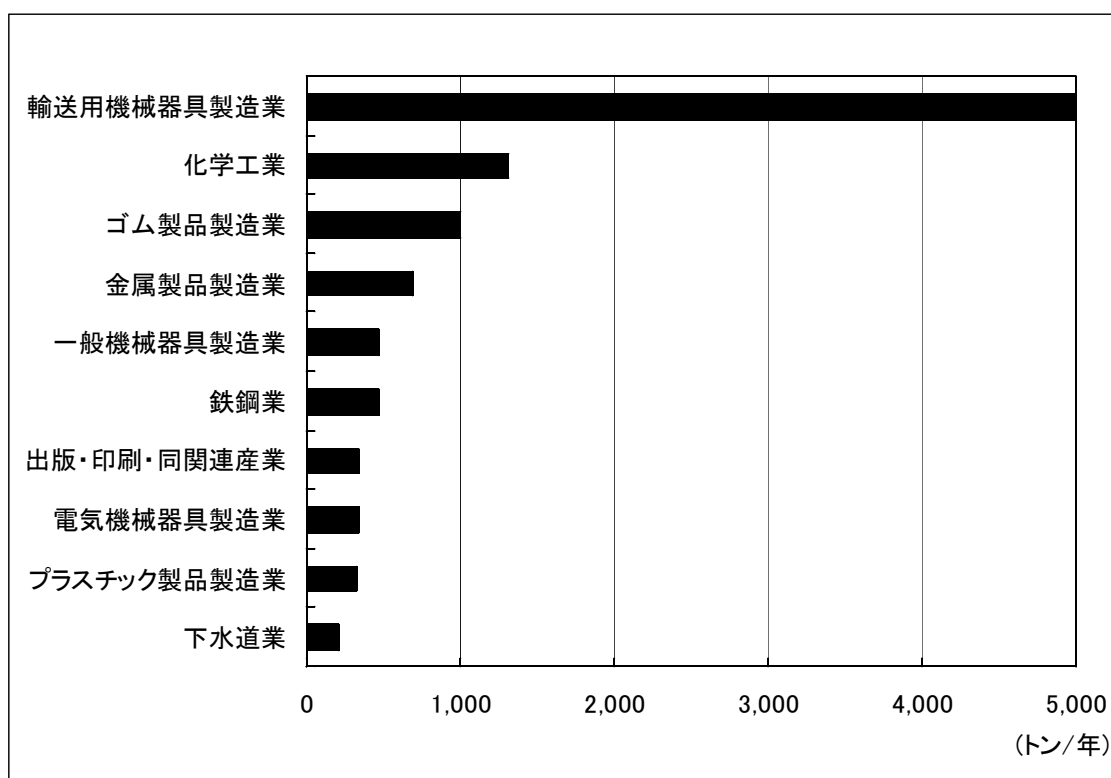


図 2-10 届出排出量上位 10 業種

(ウ) 届出移動量(《 》内は平成 16 年度結果)

製造業・非製造業を合わせた全 39 業種のうち、製造業(20 業種)における届出移動量の合計は 13,714 トン《 11,962 トン》で、総届出移動量 14,180 トン《 12,471 トン》の 97 %《 96 %》を占めていました。

移動量の多い上位 5 物質の過去 5 年間の移動量と主な用途は、表 2-15 のとおりです。

表 2-15 届出移動量上位 5 業種

順位	物質名	移動量(トン/年) [()内は当該年度の順位]					主な届出物質
		H17	H16	H15	H14	H13	
1	化学工業	8,521	7,620 (1)	6,593 (1)	6,533 (1)	6,936 (1)	トルエン、キシレン、フェノール
2	輸送用機械器具製造業	1,337	984 (2)	1,018 (2)	939 (2)	1,316 (2)	キシレン、トルエン、ビスフェノールA型エポキシ樹脂(液状のものに限る。)
3	鉄鋼業	1,197	457 (5)	256 (9)	224 (8)	275 (8)	マンガン及びその化合物、クロム及び三価クロム化合物、エチレングリコール
4	金属製品製造業	609	579 (4)	563 (4)	371 (5)	444 (4)	亜鉛の水溶性化合物、キシレン、トルエン
5	電気機械器具製造業	517	644 (3)	869 (3)	647 (3)	761 (3)	銅水溶性塩(錯塩を除く。)、トルエン、スチレン

移動量の多い上位 10 業種は、図 2-11 のとおりです。上位 10 物質の移動量の合計は 13,482 トン《 11,706 トン》で、総届出排出量に占める割合は 95 %《 94 %》でした。

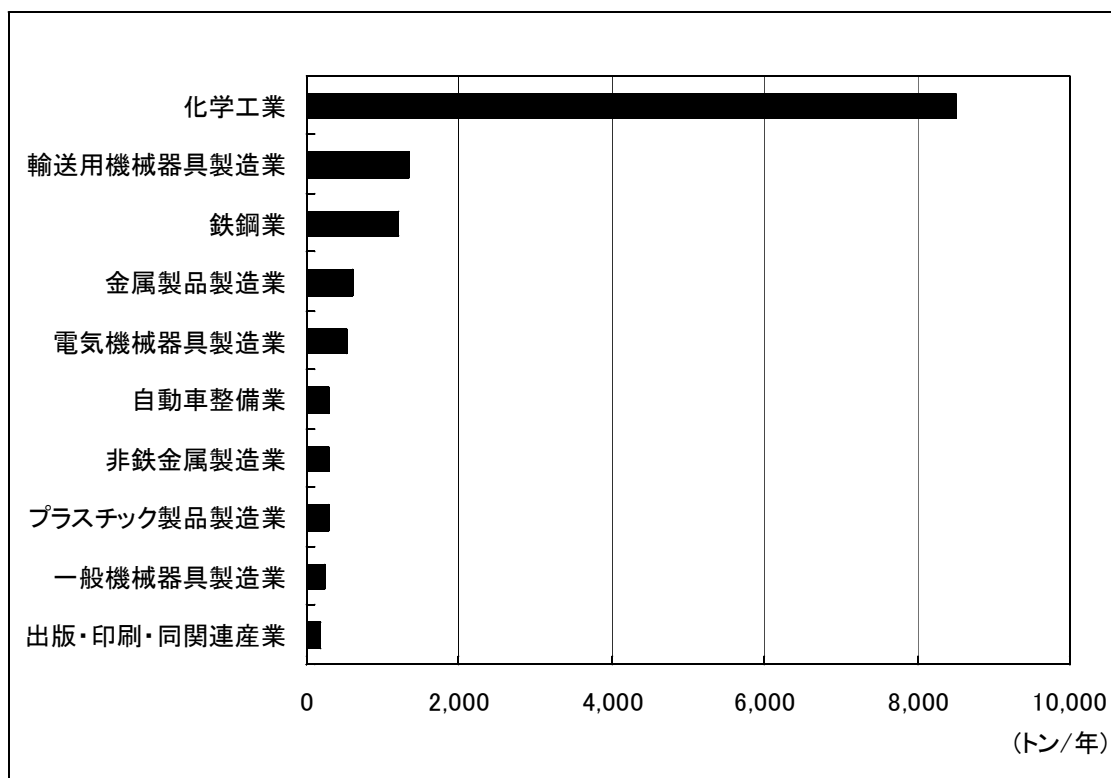


図 2-11 届出排出量上位 10 業種